

現代を生きる

地域ぐるみで子どもを育てる

こどもの成長ってすごい！地域のさまざまな育成会活動を活発化・サポートするために、大人が変われば子どもも・・・



当別町子ども会育成連合会
会長 小川忠司さん



平成 21 年 1 月 18 日
第 38 回新春子どもカルタ大会表彰式

当別のこどもたちは大きな可能性がある！

当別町には平成 5 年に札幌の白石区から転入してきました。羽幌町で生まれ育ったんですが、父親やその友人が近所の子どもたちを集めて田植えや、餅つきなど、様々な体験をさせてくれました。寺小屋と呼んでいましたが、子どものころから近所や子どもたちとのコミュニケーションが当たり前で育ってきました。

札幌ではコミュニケーションが少ないですね。子ども会なんかほとんどないんじゃないですか？その点、当別はいい環境にあると思います。娘が一人いますのでスターライトの町内会から声がかかり、育成部の役員を務め、それ以来育成会の活動に携わってきました。こどもは群れて遊んで、いろいろなことにチャレンジし、時には大人が叱って成長していくものだと思います。カルタ大会の打合

せの席上、競技性に固執しすぎていっているのでは、という議論がありました。しかし勝負にこだわることで、負けたら悔しいという思いや感動を呼ぶのだと思います。

スターライト町内会は、毎週の練習のおかげで町内では常勝チームですが、全道大会はレベルが違い、大差で負けてしまい、選手たちは大泣きするんです。そんな姿に子どもの成長と同時に感動を覚えました。

今の子どもたちは、なにかまじめで優等生という感じ、泥臭さがないような印象を受けます。失敗を恐れず、もっと多くのことに挑戦や経験をさせることで人間性を高めてもらいたい。そんな中で当別町子ども会育成連合会のジュニアリーダーの活動は、ほかの町にも自慢できる活動です。子どもだから持ち得る素直な好奇心で自ら活動する内容を考え、町外とも積極的な研修会などを通して結びつ

き、自分を主張できる子どもが育っています。

地域の大人の協力は重要！

今、育成会活動にも子どもたちの減少が問題となっています。絶対数の減少自体は止むを得ないとしても、指導者、リーダーの不足により活動できない育成会をどうフォローするかということです。

子ども会育成連合会の活動は、子どもたちが集まる場所を作り、ひとりでも多くの子どもたちを集めること。もちろん保護者の協力が不可欠です。子どもたちの成長を見ることは楽しいと感じ、多くの大人が協力してくれれば育成会活動も活発になり、そのことが地域を活発化させていくことにつながると思います。

今年は星の観察会など楽しい行事も予定していますので、みんなで来てほしいですね。